

再評価項目調査

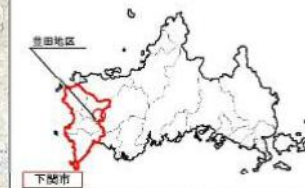
再評価実施要件		● 事業採択後（ 10 年 ） ○ 再評価後（ 年 ） ○ その他（ ）						
1 事業概要	事業名	豊田地区 県営老朽ため池整備事業						
	事業場所	下関市豊田町						
	事業主体	山口県						
	事業期間	《 前回評価 平成 27 年 時 》 平成 27 年度 ～ 令和 8 年度 《 令和 6 年度 》 （ 西暦 2015 年度 ～ 西暦 2026 年度 《 西暦 2024 年度 》 ）						
	総事業費 （内用地補償費）	《 514 百万円 》 964 百万円 （ - 百万円 ）	既投資額 （内用地補償費）	951 百万円 （ - 百万円 ）	進捗率 （用地補償費）	99 % （ - % ）		
	事業目的	下関市豊田地域には大小あわせ200箇所余りの農業用ため池があり、下関市豊田地域の水田をかんがいする重要な水源となっている。 このうち、本事業により改修を進めている3箇所のため池は、老朽化によって堤体の侵食が進んでおり、漏水箇所も多い状況である。また、洪水吐の断面が不足しているため、集中豪雨等でため池の水位が上昇すると、漏水の拡大や、堤頂からの越流による堤体の決壊が懸念される。本地区のため池が決壊すると、下流域の農地、人家及び公共施設等への被害は避けられない。このため、本事業により、ため池を整備し、豪雨等への対策と農業用水の確保を一体的に進めるものである。						
	事業内容	・ため池整備 3か所 今道上 ：堤体工（H＝8.4m、L＝62.0m）、洪水吐工、取水施設工 弁財天堤：堤体工（H＝8.3m、L＝26.4m）、洪水吐工、取水施設工 田代 ：堤体工（H＝10.4m、L＝115.9m）、洪水吐工、取水施設工						
事業効果	・維持管理費節減効果 施設の新設や更新によって維持管理費が増減する効果 ・災害防止効果 ため池の災害を防ぐことで、農業関係資産や一般資産、公共資産等の被害が防止・軽減する効果							
2 再評価の視点	（1）社会経済情勢の変化	社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	・短時間強雨（1時間降水量50mm以上）の発生回数が増加傾向にある。具体的には、平均年間発生回数が、1976年～1985年（S51～S60）の約226回から、直近10年間の2013年～2022年（H25～R4）の約328回へと約1.5倍に増加している。 ・一方、降水日数は減少傾向にある。具体的には、日降水量1.0mm以上の年間日数は、1901年～1930年（M34～S5）の約125日から、直近30年間の1993年～2022年（H5～R4）の約116日へと約0.9倍に減少している。 ・気象変動の影響と考えられ、今後、短時間強雨の増加、降水日数減少の傾向が強まり、洪水、濁水ともにリスクが高まっていくおそれがある。 ・本事業は、老朽化したため池を整備することで、洪水や濁水のリスクに対応するものであり、必要性は高まっている。				中項目評価	大項目評価
		関係市町及び地元の意向	<地元の意向> ・防災面では、老朽化が進み、豪雨等による決壊が懸念されるため、早期整備を望んでいる。 ・営農面でも、ため池の整備による安定した水源確保を望んでいる。（ため池の受益地はいずれもほ場整備した農地である） <市の意向> ・県、市等で構成されるため池対策推進会議において、関係機関連携の下でため池の防災減災対策に取り組んでおり、本事業の継続を望んでいる。				中項目評価	大項目評価

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等	単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>前回（採択時） (基準年：H26)</th> <th colspan="2">今回（再評価） (基準年：R7)</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益 (B)</td> <td>①維持管理費削減効果</td> <td>-3.0</td> <td>-7.7</td> <td>-5.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②災害防止効果(農業関係資産)</td> <td>591.4</td> <td>1,455.7</td> <td>690.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③災害防止効果(一般資産)</td> <td>40.5</td> <td>98.4</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④災害防止効果(公共資産)</td> <td>421.5</td> <td>1,383.1</td> <td>590.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>1,050.4</td> <td>2,929.4</td> <td>1,275.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>409.6</td> <td>1,267.1</td> <td>819.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②その他</td> <td>87.8</td> <td>147.5</td> <td>10.8</td> <td>関連事業費＋再整備費</td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>497.4</td> <td>1,414.6</td> <td>830.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比 (B/C)</td> <td>2.11</td> <td>2.07</td> <td>1.53</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 【費用対効果分析手法】 ○新たな土地改良の効果算定マニュアル（平成26年9月：農林水産省農村振興局）	区分	主な項目	前回（採択時） (基準年：H26)	今回（再評価） (基準年：R7)		備 考	全体事業	全体事業	残事業	便益 (B)	①維持管理費削減効果	-3.0	-7.7	-5.0		②災害防止効果(農業関係資産)	591.4	1,455.7	690.3		③災害防止効果(一般資産)	40.5	98.4	0.0		④災害防止効果(公共資産)	421.5	1,383.1	590.1		総便益	1,050.4	2,929.4	1,275.4		費用 (C)	①事業費	409.6	1,267.1	819.3		②その他	87.8	147.5	10.8	関連事業費＋再整備費	総費用	497.4	1,414.6	830.1		費用便益比 (B/C)		2.11	2.07	1.53		大項目 評 価 A ・ B ・ C
		区分	主な項目			前回（採択時） (基準年：H26)	今回（再評価） (基準年：R7)			備 考																																																			
				全体事業	全体事業	残事業																																																							
		便益 (B)	①維持管理費削減効果	-3.0	-7.7	-5.0																																																							
②災害防止効果(農業関係資産)	591.4		1,455.7	690.3																																																									
③災害防止効果(一般資産)	40.5		98.4	0.0																																																									
④災害防止効果(公共資産)	421.5		1,383.1	590.1																																																									
総便益	1,050.4		2,929.4	1,275.4																																																									
費用 (C)	①事業費	409.6	1,267.1	819.3																																																									
	②その他	87.8	147.5	10.8	関連事業費＋再整備費																																																								
	総費用	497.4	1,414.6	830.1																																																									
費用便益比 (B/C)		2.11	2.07	1.53																																																									
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	・今道上池と弁財天堤池の整備は完了している。 ・現在、田代池の整備を進めている（令和8年度完了予定）。 【事業量の変化】 有 (無) 【事業期間の変化】 (有) 無 完了年度：R6 → R8 〔理由〕 豪雨で工事現場が被災したため。	大項目 評 価 A ・ B ・ C																																																										
	(4) コスト削減 代替案等の可能性	コスト削減	・堤体の改修に当たっては、旧ため池の堤体形状等を活かした改修工法を採用し、土工量の削減を図った	中項目 評 価 a・b	大項目 評 価 A ・ B ・ C																																																								
		代替案	・本事業は、令和8年度の完成を予定しており、計画どおり進めることが妥当である。	中項目 評 価 a・b	大項目 評 価 B ・ C																																																								
3 環境	配慮事項	・工事期間中も、ため池内に浅い水域を確保し、水生動物に配慮する。																																																											
4 対応方針	(事業実施主体案)	総合評価	● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止																																																										
	評価理由	・短時間強雨の増加による洪水リスクや、降水日数の減少による渇水リスクに備えるためには、ため池の整備が必要であるため。																																																											
	備考																																																												

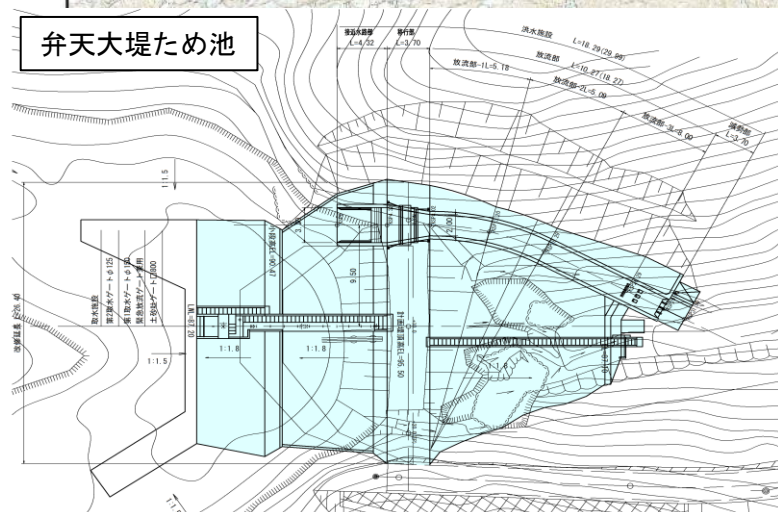
豊田地区 県営老朽ため池整備事業

所在地 山口県下関市豊田町

県内位置図



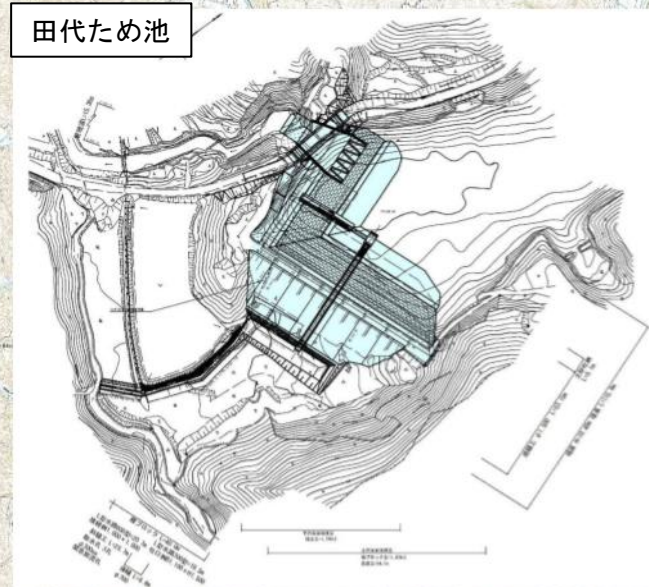
弁天大堤ため池



受益面積 27.7ha

3 田代ため池

田代ため池



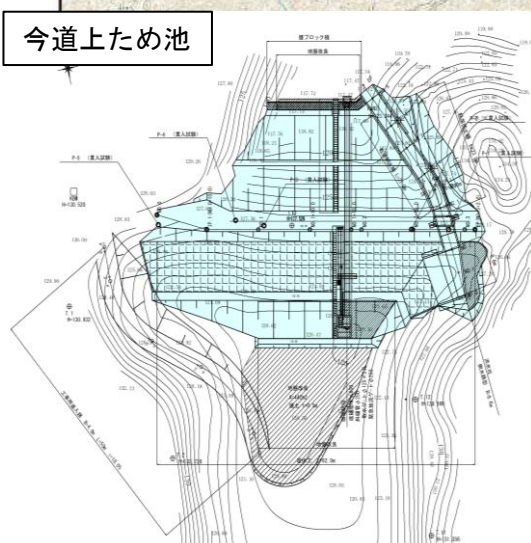
受益面積 7.8ha

2 弁財天堤ため池

受益面積 5.8ha

1 今道上ため池

今道上ため池



凡 例	
区 分	色 別
受益区域	
集水区域	
保全区域	
豊 田 地 区	